

9. 行財政改革について

(1) 市が重点的に取り組むべき行財政改革

問22 行財政改革を進めるにあたって、市が重点的に取り組むべきと思うものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。(複数回答)

市の行財政改革については、「職員数と人件費の適正化」(40.2%)、「公共施設の運営の見直し」(34.0%)、「事務事業の見直し」(33.3%)、「市民への情報公開の徹底」(30.6%)、「職員の意識改革や能力開発を進める」(28.8%)、「事務を効率化・合理化する」(27.2%)の順で高くなっている。

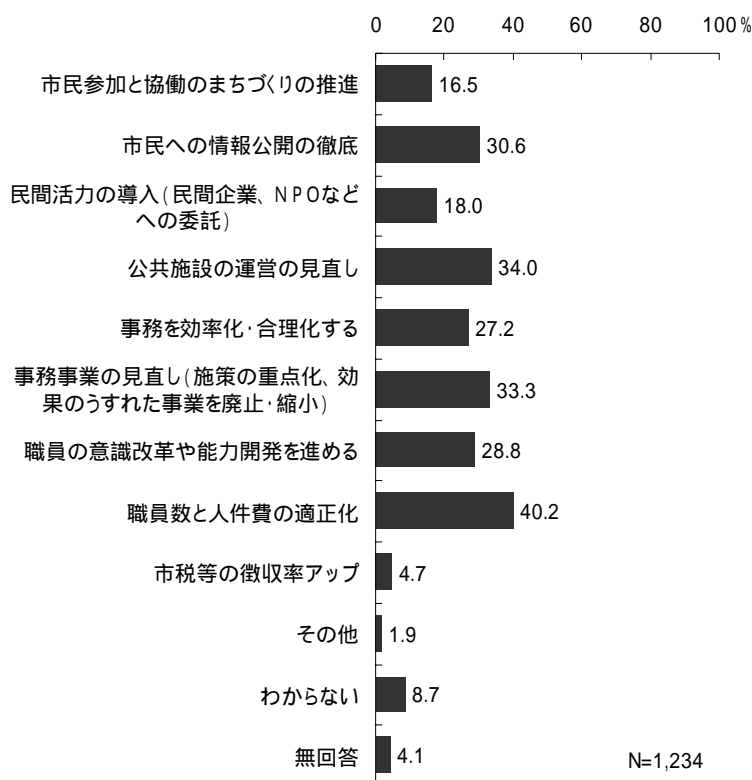


図 90 市が重点的に取り組むべき行財政改革

【属性別の傾向】

男性では、「40 歳代」が「市民への情報公開の徹底」(40.6%)、「職員の意識改革や能力開発を進める」(37.7%)で高くなっている。「女性」では、「20 歳代」が「市民参加と協働のまちづくりの推進」(27.8%)で高く、「職員数と人件費の適正化」(29.2%)で低くなっている。また、「70 歳以上」では、「市民への情報公開の徹底」(17.5%)、「事務を効率化・合理化する」(10.0%)、「職員の意識改革や能力開発を進める」(18.8%)、「職員数と人件費の適正化」(30.0%)が低いという結果であった。

表 22 属性別に見た市が重点的に取り組むべき行財政改革

(単位:%)

属性		件数 (N)	市民参加と協働のまちづくりの推進	市民への情報公開の徹底	民間活力の導入(民間企業、NPOなどへの委託)	公共施設の運営の見直し	事務を効率化・合理化する	事務事業の見直し(施策の重点化、効果のうすれた事業を廃止・縮小)
全体		1,234	16.5	30.6	18.0	34.0	27.2	33.3
性別	男性	509	17.3	32.8	21.0	36.7	30.6	36.3
	女性	698	16.3	29.7	16.2	33.1	25.4	32.2
性・年齢別	男性 20歳代	47	17.0	29.8	25.5	38.3	19.1	40.4
	男性 30歳代	88	17.0	36.4	12.5	37.5	30.7	39.8
	男性 40歳代	69	15.9	40.6	17.4	30.4	36.2	30.4
	男性 50歳代	121	15.7	27.3	22.3	43.8	31.4	33.9
	男性 60歳代	124	24.2	32.3	24.2	32.3	36.3	40.3
	男性 70歳以上	60	8.3	33.3	25.0	36.7	20.0	31.7
	女性 20歳代	72	27.8	29.2	20.8	34.7	25.0	26.4
	女性 30歳代	132	11.4	37.9	10.6	34.1	28.0	37.1
	女性 40歳代	114	14.9	31.6	21.1	32.5	28.9	27.2
	女性 50歳代	152	11.8	22.4	18.4	34.9	28.3	40.1
	女性 60歳代	148	20.3	35.1	14.2	30.4	25.7	25.0
	女性 70歳以上	80	17.5	17.5	13.8	32.5	10.0	35.0

(単位:%)

属性		件数 (N)	職員の意識改革や能力開発を進める	職員数と人件費の適正化	市税等の徴収率アップ	その他	わからない	無回答
全体		1,234	28.8	40.2	4.7	1.9	8.7	4.1
性別	男性	509	28.5	41.8	3.9	2.6	6.3	2.6
	女性	698	29.8	40.0	5.3	1.4	10.7	2.9
性・年齢別	男性 20歳代	47	31.9	27.7	4.3	2.1	10.6	0.0
	男性 30歳代	88	30.7	47.7	4.5	2.3	5.7	0.0
	男性 40歳代	69	37.7	36.2	4.3	2.9	5.8	1.4
	男性 50歳代	121	26.4	45.5	3.3	1.7	7.4	1.7
	男性 60歳代	124	25.8	46.0	2.4	2.4	3.2	2.4
	男性 70歳以上	60	21.7	35.0	6.7	5.0	8.3	11.7
	女性 20歳代	72	22.2	29.2	6.9	2.8	12.5	0.0
	女性 30歳代	132	27.3	41.7	5.3	2.3	8.3	0.8
	女性 40歳代	114	31.6	43.9	5.3	0.9	7.0	2.6
	女性 50歳代	152	36.2	44.1	4.6	0.7	9.2	1.3
	女性 60歳代	148	33.8	41.9	5.4	1.4	12.8	2.0
	女性 70歳以上	80	18.8	30.0	5.0	1.3	17.5	13.8

(2) 行政サービスの利用者負担

問23 行政サービスの利用者負担について、あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。

行政サービスの利用者負担では、「市民の負担を増やさないように、ある程度行政サービスを制限すべきだ」が41.0%で高く、「行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない」は、25.3%となっている。

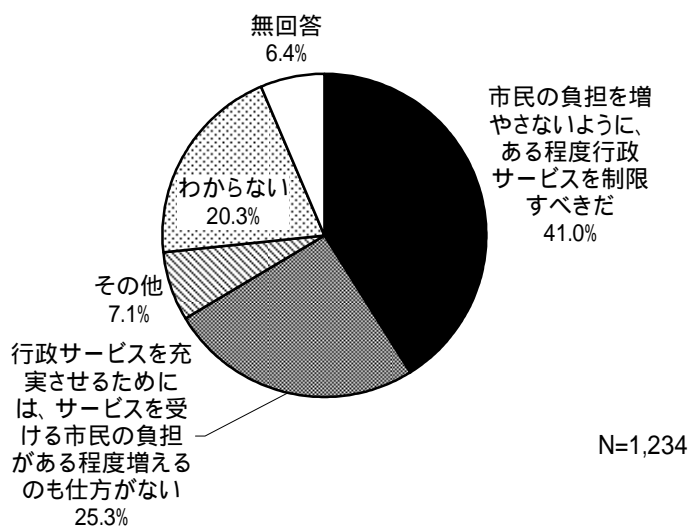


図 91 行政サービスの利用者負担

【属性別の傾向】

「男性・50歳代」(41.3%)と「男性・60歳代」(39.5%)が、「行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない」で高いのに対し、「女性・30歳代」(14.4%)が低くなっている

■ 市民の負担を増やさないように、ある程度行政サービスを制限すべきだ
 ▨ 行政サービスを充実させるためには、サービスを受ける市民の負担がある程度増えるのも仕方がない
 □ その他
 □ わからない
 □ 無回答

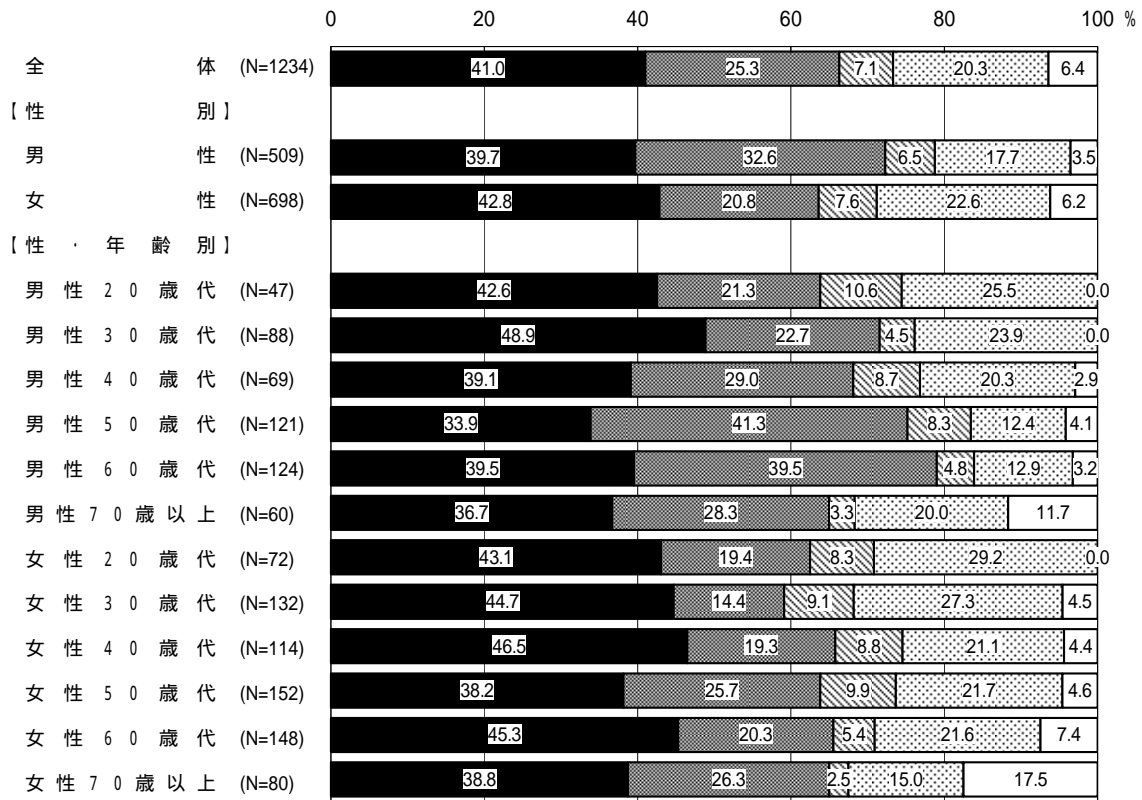


図 92 属性別に見た行政サービスの利用者負担